

防災教育を軸とした教科横断的な学習（行事・総合・他教科）神岡中実践報告

1 総合的な学習の時間での実践

【神岡中学校防災学習のねらい】

- ・状況に応じて適切な行動を自分で判断し、安全に避難することができる。
- ・地域の一員として他者の安全確保に主体的に関わることができる。
- ・日頃から自らの身を守る判断力をもつことができる。
- ・地域の一員であることを自覚し、災害が起こった際の影響を想像し地域の安全を守るために何ができるかを考えることができる。
- ・自然災害の歴史や発生する仕組みについて理解し、適切な準備をすることができる。

【1年生】

- ・防災教室 …・飛騨市内および神岡町内で起こり得る自然災害や、避難所（神岡中学校体育館）での避難生活について学び、防災意識を高める。
 - ・災害発生時にスタッフの一員として行動できるよう、避難所設営に必要な知識や技術を身に付ける。
- ・防災基礎講座…防災の基礎知識を正しく習得し、地域の一員として神岡町での自助・共助・公助について考える。
- ・風水害24 …災害シミュレーションゲームを通して、災害時の自助・共助を学ぶ。

【2年生】

- ・社会科における防災教室 …東日本大震災で被災された方のお話や事例から、自身の防災意識を高める。

【全校】

- ・避難所設営シミュレーション…神岡中学校を避難所として開設する際に、避難所設営を主導できる知識を身に付ける。また、ただ場所を開放するだけではなく心理的な安心感を抱かせることも必要であることを知る。

2 活動の様子



【1年生防災教室】



【避難所設営シミュレーション】